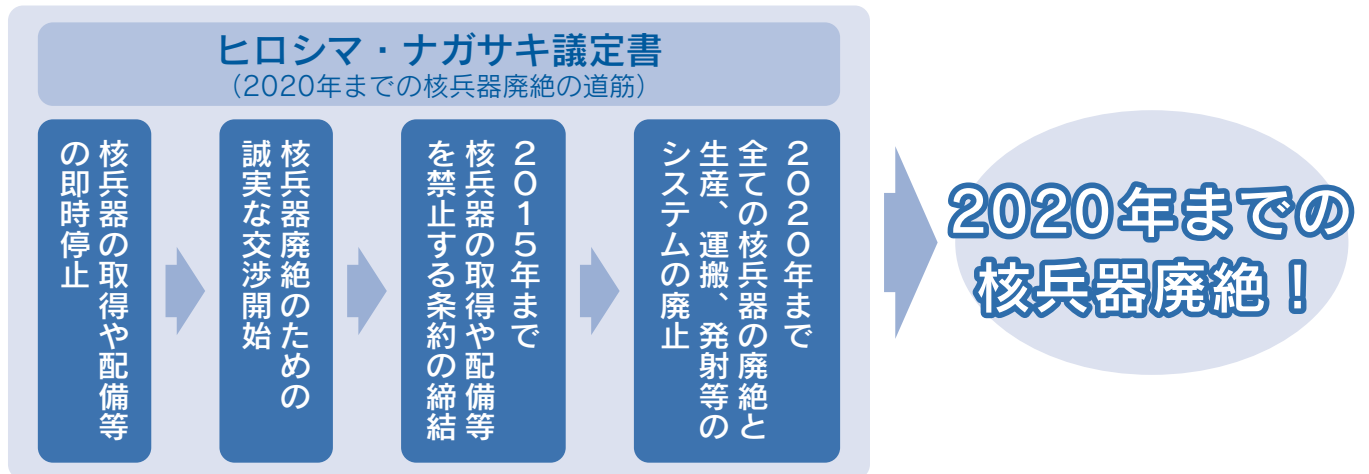


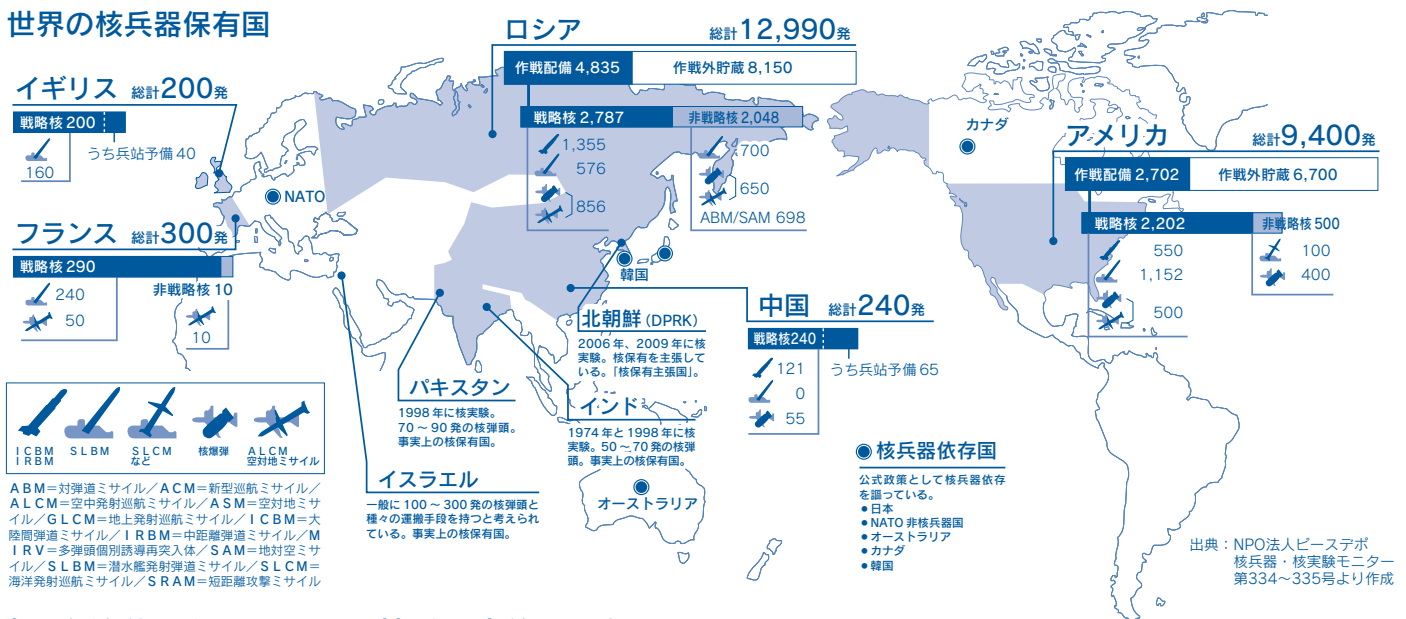
2020年までに核兵器の廃絶を!

平和市長会議では、2003年(平成15年)秋より2020年までの核兵器廃絶を目指す具体的な行動指針「2020ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」を策定し、世界の都市、市民、NGO等との連携を図りながら、核兵器廃絶に向けた様々な取組を世界的に展開しています。



今なお、2万発をこえる核兵器が...

世界の核兵器保有国



地方自治体からはじまる、核兵器廃絶のうねり

市民が生活する都市、地方自治体。核兵器のない世界、戦争のない平和な世界の実現は、私たちの暮らしの場からの世論をつくるのが大切です。平和市長会議の呼びかけは、世界中に広がり、京都府内でも加盟される首長が相次いでいます。

主催：「核兵器のない世界」を求めて・秋葉忠利広島市長講演会実行委員会

IPPNW 京都府支部・核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会、京都原水爆被災者懇談会、京都YMCA、京都YWCA アポリション2000京都、京都宗教者平和協議会、日本科学者会議京都支部、原水爆禁止京都協議会、反核京都産業人の会 非核の政府を求める京都の会、京都府生活協同組合連合会、平和友の会、京都府保険医協会、京都府歯科保険医協会

後援：平和市長会議

平和市長会議に加盟する自治体が続々誕生。京都府内でも宇治市・京都市・京丹波町・向日市・長岡京市・大山崎町の各首長が加盟。(09年9月1日現在)